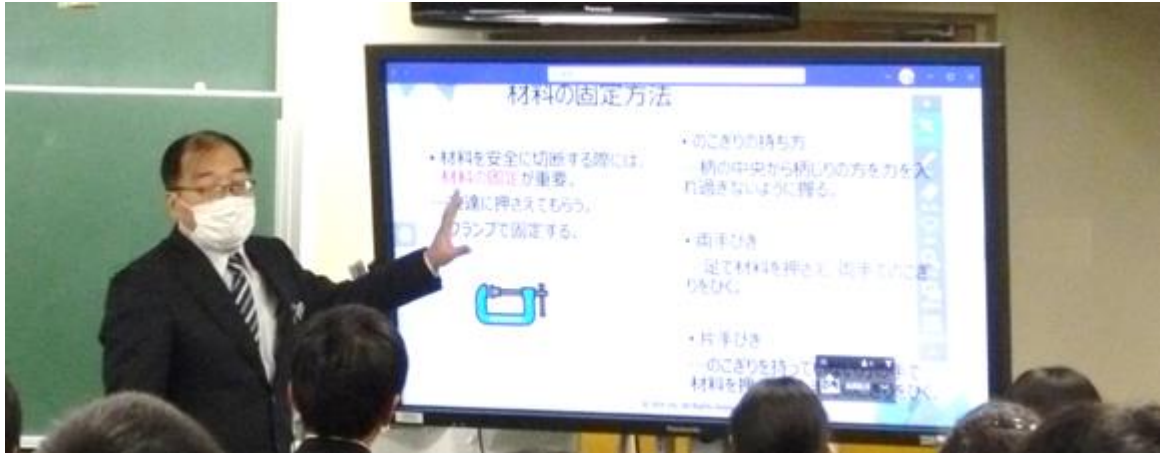


佐賀大学×プロジェクトE連携

1人1台端末を活用した授業公開研修



佐賀大学教育学部附属中学校 藤原 英則 教諭

単元名：両刃のこぎりによる切断（中学校第1学年 技術家庭科（技術分野））

ICT活用のポイント

- ・のこぎり引き練習の時の動画と製作時の実践動画を比較することで、切断するコツをつかむことができる。
- ・班でまとめられた意見を授業支援ソフトを通して全体で共有を図ることにより、のこぎり引きの技術の習得につなげる。

本時の目標

前回ののこぎり引きの練習と製作を比較しながら、のこぎり引きを正確に行うためのコツなどをつかみ、今後のものづくりにいかすことができる。

学習の流れ 全12時間（本時 7/12）

【知識・技能】

導入

①前回ののこぎり引きをふり返る。

活用ポイント
【保存した動画】

②今日の活動について確認する。

くめあて>
今後のものづくりにいかすために、のこぎり引きのコツをつかもう。

展開

③のこぎり引きの課題の改善方法について話し合う。

④班で話し合った内容について発表する。

活用ポイント
【授業支援ソフト
（バイシンク）】

まとめ

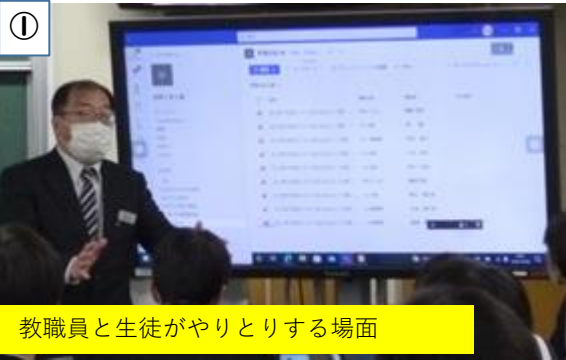
⑤本時のまとめを行う。

のこぎり引きをうまく行うには、姿勢、角度、切り始め・切り終わり、のこぎり引きの音のポイントをつかむ必要がある。

⑥本時の学習を振り返る。

活用ポイント
【Microsoft Forms】





教職員と生徒がやりとりする場面

①前回ののこぎり引きを振り返る。
【電子黒板：表示機能】

生徒が保存した動画を使うことで前時の学習をすぐにより詳しく確認できます。



自分で調べる場面

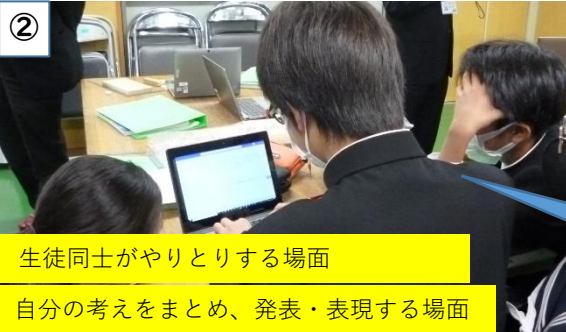
生徒同士がやりとりする場面

②のこぎり引きの課題の改善方法について話し合う。
【授業支援ソフト（動画の共有）】

端末を並べることで2つの動画を比較しやすくなります。

- A「うまく切れた人は、引くときにすばやく動かしてるね。」
B「土台になる椅子の引っ掛かりをうまく使っているね。」
A「音がシュッと becoming ってるね。」
B「角度が違う！」

グループの考えをまとめながら、話し合いを進めることができます。

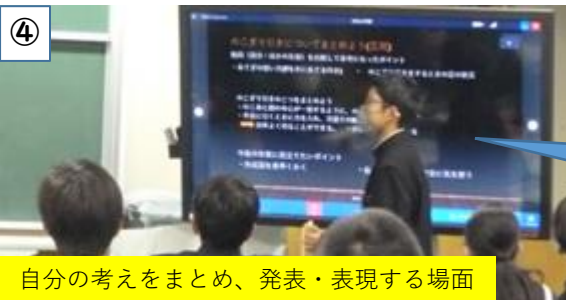


生徒同士がやりとりする場面

自分の考えをまとめ、発表・表現する場面

④班で話し合った内容について発表する。
【授業支援ソフト】

まとめた資料を瞬時に電子黒板と学習用端末に表示することができます。



自分の考えをまとめ、発表・表現する場面

⑥本時の学習を振り返る。
【Microsoft Forms】

児童が回答した振り返りを瞬時にグラフ化できるので、視覚的にクラスの状態を把握し、次時の学習に生かすことができます。



教職員と生徒がやりとりする場面

令和4年12月8日に行われた、藤原英則教諭（佐賀大学教育学部附属中学校）の実践です。実習の動画を効果的に活用することで、技能を高めるポイントを視覚的に確認できる授業でした。
＜授業公開研修に参加された方々の声＞

- ・材料と加工の技術におけるICTの使い方について実践を知ることができました。なかなか技術の研修がないため、とても貴重な体験でした。今後も授業実践やICT活用について情報交換する場があったら良いなと思いました。
- ・ICT機器を活用して、予習や復習での活用を見ることができて参考になった。また、グループ内で協力してそれぞれのパソコンで同時に練習動画、製作動画、お手本動画を再生すると見比べやすいかなと感じた。